



今月の話題：週刊誌で或る科学者でもある医者のお話を拾い読みした。同じ病状の患者に同じ手当をし、同じ薬を処方しても良くなる患者とそうでない患者がいるのは何故か。調べたところ、結局は本人の気持ちの持ちようなのだそう。あとこれだけしかない、と思うか、まだこれだけあると考えるか、というのは積極的生き方の思考としてよく説かれるところである。金子兜太の新年の句に「オリオン出づ百歳までは唯の歳」(俳壇 1 月号)がある。今年 97 歳を迎える氏の、オリオン座の変わらぬ光に寄せる新たな気概を詠みとった。明日も元気に足を踏み出そう。(伊藤誠三)

□ 本部便り：

- ・H27 年度第 1 回拡大理事会が 2 月 2 日 (月) 18:00 からサツ事務所で開かれます。
- ・H27 年度**通常総会**は、2 月 23 日 (月) 15:00 から東京大学山上会館にて開催。○総会 15:00~15:50
○記念講演：松村秀一先生「建築 新しい仕事のかたち一箱の産業から場の産業へ」15:55~16:50
○懇親会 17:15~19:00
会員各位のご出席をお願い致します。正会員で欠席の方は**委任状**をメール、FAX でご提出願います。

□ 建築部会 (安部重孝記)

- ・12 月 8 日 BIM 中小建設業への普及支援 WG、開始。(幹事：伊藤) オートデスク社と SME 契約し、BIM 対応システム Revit の翻訳支援業務を泉清之氏が鋭意始められました。
- ・1 月 7 日 大林組の BIM 担当部門見学 (担当：泉、伊藤) 大手建設業者の取り組みを視察した。9 名が参加し、終了後、今後の BIM への取り組みを協議した。
- ・1 月 22 日 住宅あんしん保証の石井氏来訪。検査項目の変更の説明があった。(安部、金森、柳川) 今年も数件の検査受託を期待しています。
- ・1 月 29~30 日 受託業務を行っているデベロパーから、施工中物件前面道路の歩道陥没についてのコメントを求められ対応した。

○次回部会予定：2 月 18 日 (水) 17:30~

□ 戸建住宅部会 (阿部市郎記)

- ・平成 27 年度上期の概況：1 月~3 月までは 4 月 1 日より新省エネルギー基準の施行に伴う、合理化システム長期性能タイプの合理化普及協会の新省エネ適用条件の対応申請と認定を個別に取得している各社への支援業務を受託推進することに務める。その他、住木センターより木材利用ポイント建物追跡調査、CLT 協会よりの委員会事務局業務等の受託業務を部会員各位の協力を得て推

進する。

- ・木質構造建築設計 WEB セミナー 2014: 11 月 7 日より開講。無料講座なのでホームページより部会会員の聴講申込をお勧めする。
- ・ホームビルダー実務向上 WEB セミナー 2014: 第 2 クールは、TV の「ビフォーアフター」等を担当した設計者の実務談等が既にリリースされている。会員は聴講無料。HP より申し込みたい。

○次回部会予定：2 月 6 日 (金) 18:00~

ショートスピーチは野村信之氏「全国の地名」

□ 集合住宅部会 (小畑晴治記)

- ・「マンション再生なび」とのタイアップで、「建替を前提としない団地再生」を目指す管理組合への勉強会の開催を分担することになった。中層階段室住棟の低廉な昇降装置の研究開発や、サ高住など高齢者の安心居住を勉強してきた成果が、発揮できるのではないかと期待している。中層住棟用の昇降装置についても、協力メーカーが「助成金なしでも頑張ろう」という姿勢になっており、本年中の試行設置をめざしています。

○次回部会予定：3 月 12 日 (木) 18:00~

□ マンション管理組合支援事業部 (向野元昭記)

- ・ビスタリエ向陽台団地大規模修繕工事の設計監理業務に応札しましたが、残念ながら落選しました。

○次回部会予定：3 月 12 日 (木) 16:00~

□ 建築技術誌 2 月号サツ欄に掲載

- ・菊池 清「建築が文化を発信できたら」
- ・「モンゴル建築技術交流シンポジウム紀行 (2)」
- **お願い**：サツ会誌の配布残部があります。お付き合い先にご持参下さい。持参された方は配布先をご記入ください。1 月 30 日に国交省住宅局建築指導課・住宅生産課・審議官を訪問、会誌 7 部を持参し、会話が盛り上がりました。(安部)

□ 余滴：二月来る行き交ふ人の足かろし まこと